

# 沼津港観光の傾向分析

# 目次

## 沼津港観光の傾向分析

観光客の傾向まとめ	…3頁
・沼津港観光利用傾向のまとめ	…4頁
使用した資料について	…5頁
・傾向分析に使用した資料について	…6頁
県内・県外の利用者比率	…7頁
・各アンケートにおける県内外利用者比率	…8頁
県内の傾向	…9頁
・県内居住者のリピート率	…10頁
・沼津近郊地域の利用客層（年齢別）	…12頁
・沼津近郊地域の利用客層（年齢・同伴者別）	…13頁
・沼津近郊地域の利用客層（旅行目的別）	…14頁
・沼津近郊地域の利用客層（交通手段別）	…15頁
県外の傾向	…16頁
・県外の利用客層	…17頁
・東京、神奈川、埼玉の利用客層（年齢別）	…18頁
・東京、神奈川、埼玉の利用客層（同伴者別）	…19頁
・東京、神奈川、埼玉の利用客層（旅行目的別）	…20頁
・東京、神奈川、埼玉の利用客層（交通手段別）	…21頁

# 観光客の傾向まとめ

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

# 沼津港観光利用傾向のまとめ

## 【県内】

- ・県内の利用者数は、全体の利用者数の約35%を占める。
- ・利用者は、富士地域および沼津市に近接する市町の方が多く、リピート率も80%以上と高い。
- ・利用者層は、30歳代、40歳代の未成年の子供同伴の家族連れ、60歳代の一人の利用が多く、他に60歳代の成人の子供同伴の家族連れや、50歳代~70歳代の夫婦、20歳代、30歳代の友人、知人、恋人の利用など広範囲な利用が見られる。
- ・5回以上訪れている方の割合は、どの年代でも高く、特に19歳以下、60歳代の方が高い。
- ・利用目的は、5回以上訪れている方の「食事（昼）」、「買い物」、「観光」の割合が高い。
- ・利用交通手段は、「自家用車」の利用比率が最も高く70%以上となっている。次いで「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約10%、観光バスが約1%である。
- ・利用交通手段では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関の利用は訪問回数が多くなる程、利用比率が低い。

## 【県外】

- ・県外の利用者数は、全体の利用客数の約65%を占める。
- ・利用者は、約80%が関東圏で、特に東京、神奈川、埼玉からの来訪者が多い。リピート率は56%であり、県内と比較すると低い。
- ・利用者層は、夫婦、未成年の家族連れが多く、友人、知人、恋人の若年層と思われる利用もみられる。
- ・1回目の利用の割合が高く、特に19歳~40歳代の方が高い。
- ・利用目的は、すべての訪問回数において「食事（昼）」の割合が最も高い。また、一回目に訪れる方の「観光」の占める割合が特に高い。
- ・利用交通手段は、「自家用車」の利用比率が最も高く70%以上となっている。次いで「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約10%、観光バスが約8%である。
- ・利用交通手段では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関の利用は訪問回数が多くなる程、利用比率が低い。

# 使用した資料について

# 傾向分析に使用した資料について

アンケート調査結果から沼津港における観光利用者層の傾向についてリピーター層の確保を主眼にとりまとめた。集計に用いたアンケートは以下のとおり。

**資料-1：「平成24年度 静岡県における観光の流動実態と満足度調査 報告書」**  
 （平成25年3月 静岡県 文化・観光部 観光・空港振興局 観光政策課）  
 における沼津港立ち寄り分・アンケート調査再集計結果

調査時期：平成24年8月・11月 平成25年1月 各1回ずつ  
 調査方法：聞き取り調査  
 調査範囲：静岡県全域（沼津魚市場、沼津みなと新鮮館立ち寄り者を抜粋）  
 サンプル数：264サンプル

**資料-2：沼津市・沼津港アンケート調査結果集計**  
 （平成23年～25年度分）

調査時期：平成23年度～平成25年度の3年間  
 調査方法：沼津港内のイーノおよび沼津みなと新鮮館にアンケート用紙を設置し回収  
 調査範囲：イーノおよび沼津みなと新鮮館に来訪された方々  
 サンプル数：平成23年度 1065サンプル 平成24年度 771サンプル 平成25年度 584サンプル

なお、設問内容、サンプル数が多いことから資料-2を傾向分析のベース資料として使用し、資料-1、3は補足的に使用

**資料-3：沼津港深海水族館アンケート調査・再集計結果**  
 （沼津港深海水族館提供資料）

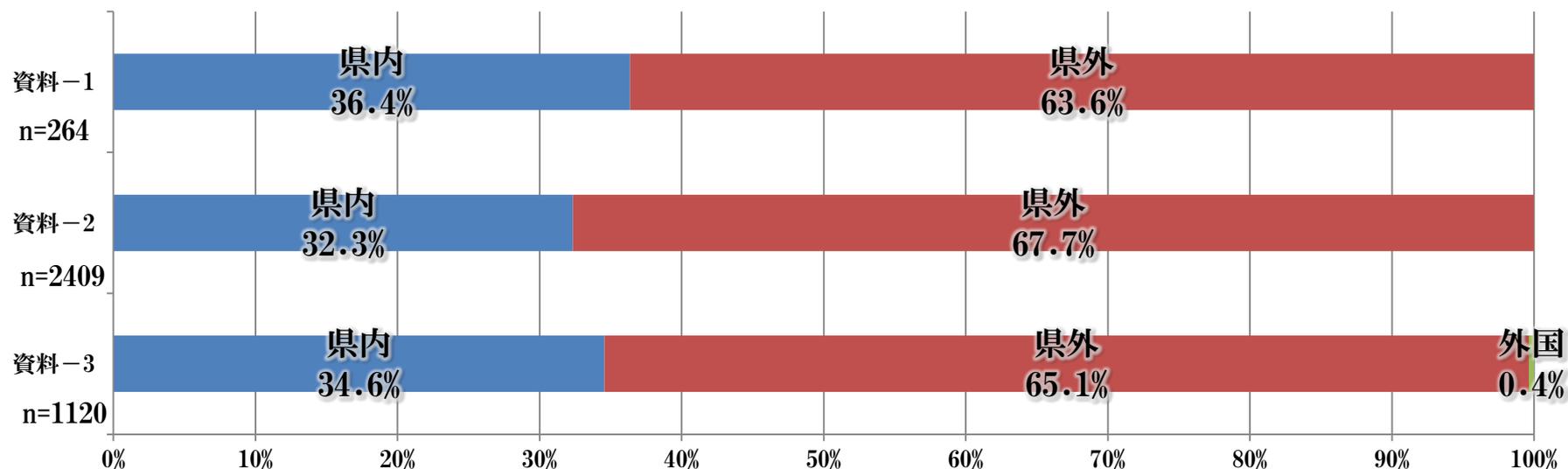
調査時期：2012年12月3日～2013年1月14日（43日間） 2013年7月20日～8月31日（43日間）  
 調査方法：沼津港深海水族館にアンケート用紙を設置し回収  
 調査範囲：沼津港深海水族館に来訪された方々  
 サンプル数：2012年12月3日～2013年1月14日 329サンプル 2013年7月20日～8月31日 699サンプル

# 県内・県外の利用者比率

# 各アンケートにおける県内外利用者比率

資料-1~3を比較すると概ね、**県内客の利用が約35%、県外客の利用が65%**であり、**県外客が多く訪れている**ことが分かる。

## 来訪者の県内外利用者比率



# 県内の傾向

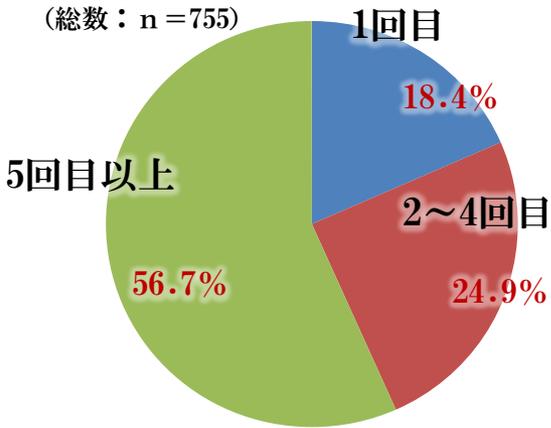
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

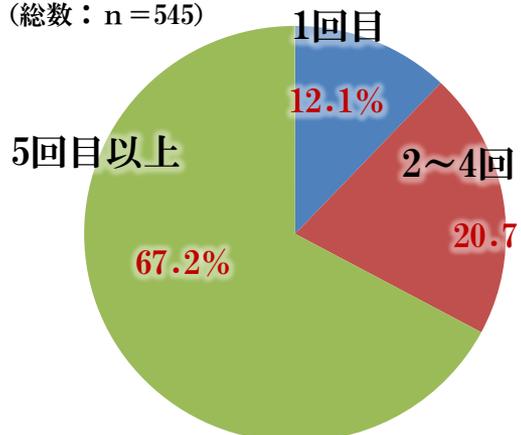
# 県内居住者のリピート率

県内客の内、**富士地域および沼津市に近接する市町**は県内客の70%を占めるとともにこの地域は、1回目の訪問より5回以上のリピート率が80%を超える高い地域でもある。  
 また、これらの地域は、訪問回数が多くなるにつれてリピート率が高くなっていく傾向がみられる。

県内居住者リピート率  
(総数：n = 755)

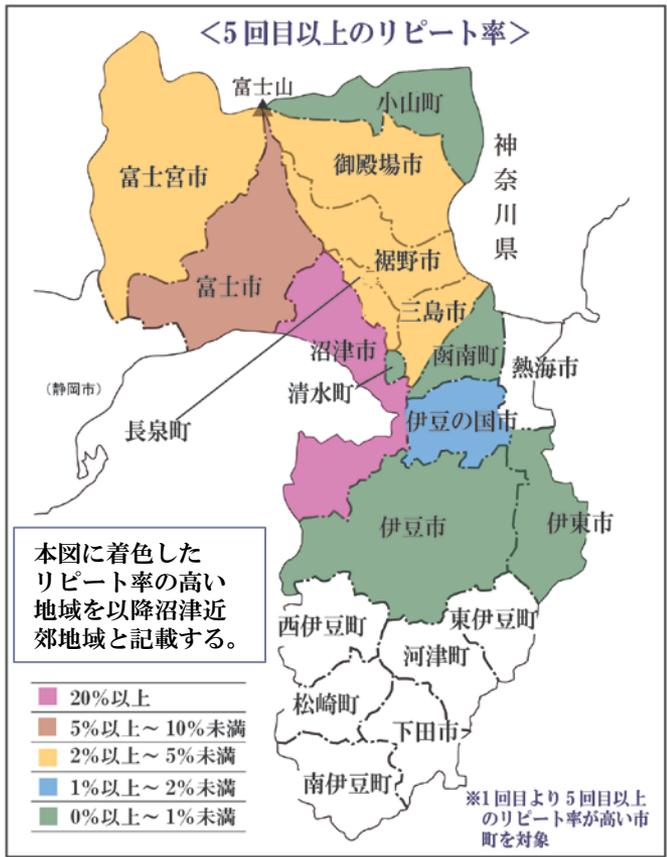


沼津近郊地域居住者リピート率  
(総数：n = 545)



資料-2：H23～25年度、県内、居住地・訪問回数クロス(全体を100%)

	1回目		2~4回目		5回目以上		総計	
沼津市	14	1.9%	34	4.5%	203	26.9%	251	33.2%
富士市	15	2.0%	21	2.8%	50	6.6%	86	11.4%
三島市	9	1.2%	14	1.9%	21	2.8%	44	5.8%
長泉町	6	0.8%	11	1.5%	18	2.4%	35	4.6%
裾野市	6	0.8%	8	1.1%	16	2.1%	30	4.0%
富士宮市	6	0.8%	8	1.1%	15	2.0%	29	3.8%
御殿場市	4	0.5%	8	1.1%	15	2.0%	27	3.6%
清水町	0	0.0%	3	0.4%	7	0.9%	10	1.3%
伊豆の国市	1	0.1%	0	0.0%	9	1.2%	10	1.3%
函南町	2	0.3%	2	0.3%	3	0.4%	7	0.9%
伊東市	1	0.1%	2	0.3%	3	0.4%	6	0.8%
伊豆市	2	0.3%	1	0.1%	3	0.4%	6	0.8%
小山町	0	0.0%	1	0.1%	3	0.4%	4	0.5%
その他市町	73	9.7%	75	9.9%	62	8.2%	210	27.8%
総計	139	18.4%	188	24.9%	428	56.7%	755	100.0%



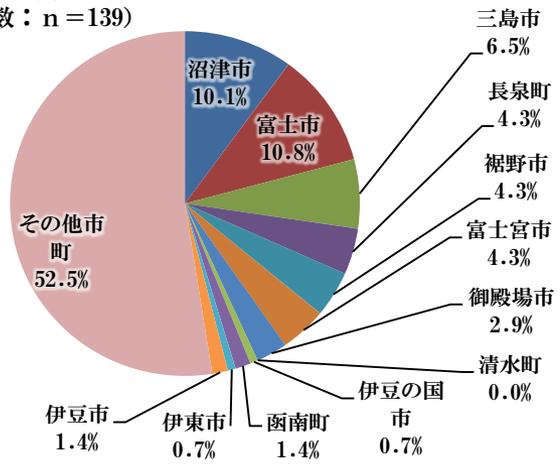
●●●● 1位 ●●●● 2位 ●●●● 3位 ●●●● 4位 ●●●● 5位 **太字** 6位以降主なもの

**着色** は、1回目より5回以上のリピート率が高い市町  
 その他市町は、1回目より5回以上のリピート率が低い市町の合計  
 総計はアンケート回答数であるため実際のサンプル数より少なくなっている

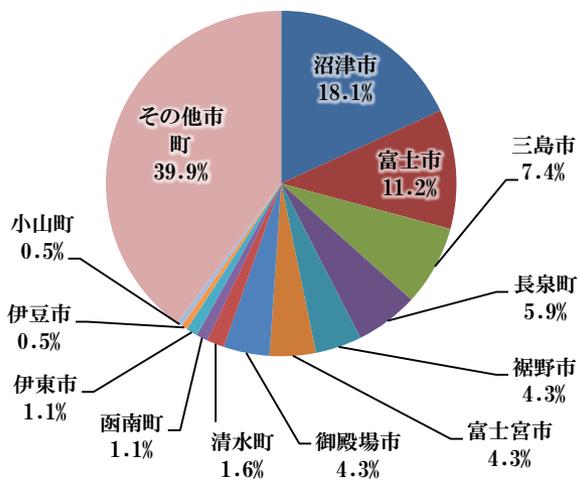
# 県内居住者のリピート率

訪問回数ごとに各市町の傾向を比較すると、沼津市の方においては、5回以上のリピート率が47.4%となり、非常に高くなる。

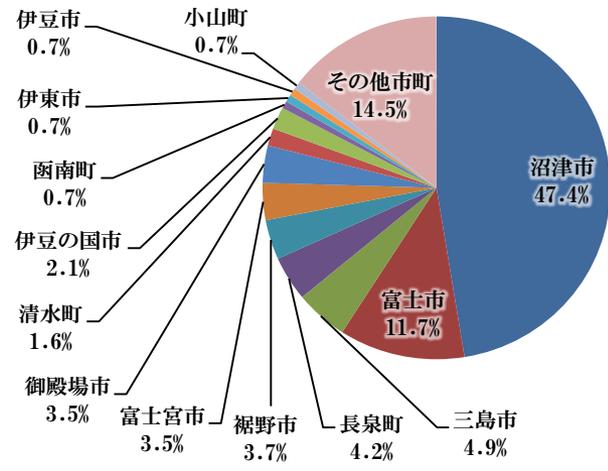
H23～25年度、県内居住地 訪問回数 1回目  
(総数：n = 139)



H23～25年度、県内居住地 訪問回数 2～4回目  
(総数：n = 188)



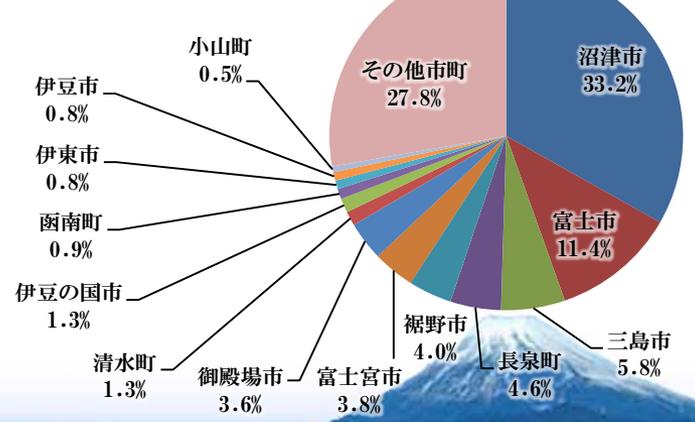
H23～25年度、県内居住地 訪問回数 5回目以上  
(総数：n = 428)



資料一：H23～25年度、県内、居住地・訪問回数クロス (訪問回数それぞれを100%)

	1回目		2～4回目		5回目以上		総計	
沼津市	14	10.1%	34	18.1%	203	47.4%	251	33.2%
富士市	15	10.8%	21	11.2%	50	11.7%	86	11.4%
三島市	9	6.5%	14	7.4%	21	4.9%	44	5.8%
長泉町	6	4.3%	11	5.9%	18	4.2%	35	4.6%
裾野市	6	4.3%	8	4.3%	16	3.7%	30	4.0%
富士宮市	6	4.3%	8	4.3%	15	3.5%	29	3.8%
御殿場市	4	2.9%	8	4.3%	15	3.5%	27	3.6%
清水町	0	0.0%	3	1.6%	7	1.6%	10	1.3%
伊豆の国市	1	0.7%	0	0.0%	9	2.1%	10	1.3%
函南町	2	1.4%	2	1.1%	3	0.7%	7	0.9%
伊東市	1	0.7%	2	1.1%	3	0.7%	6	0.8%
伊豆市	2	1.4%	1	0.5%	3	0.7%	6	0.8%
小山町	0	0.0%	1	0.5%	3	0.7%	4	0.5%
その他市町	73	52.5%	75	39.9%	62	14.5%	210	27.8%
総計	139	100.0%	188	100.0%	428	100.0%	755	100.0%

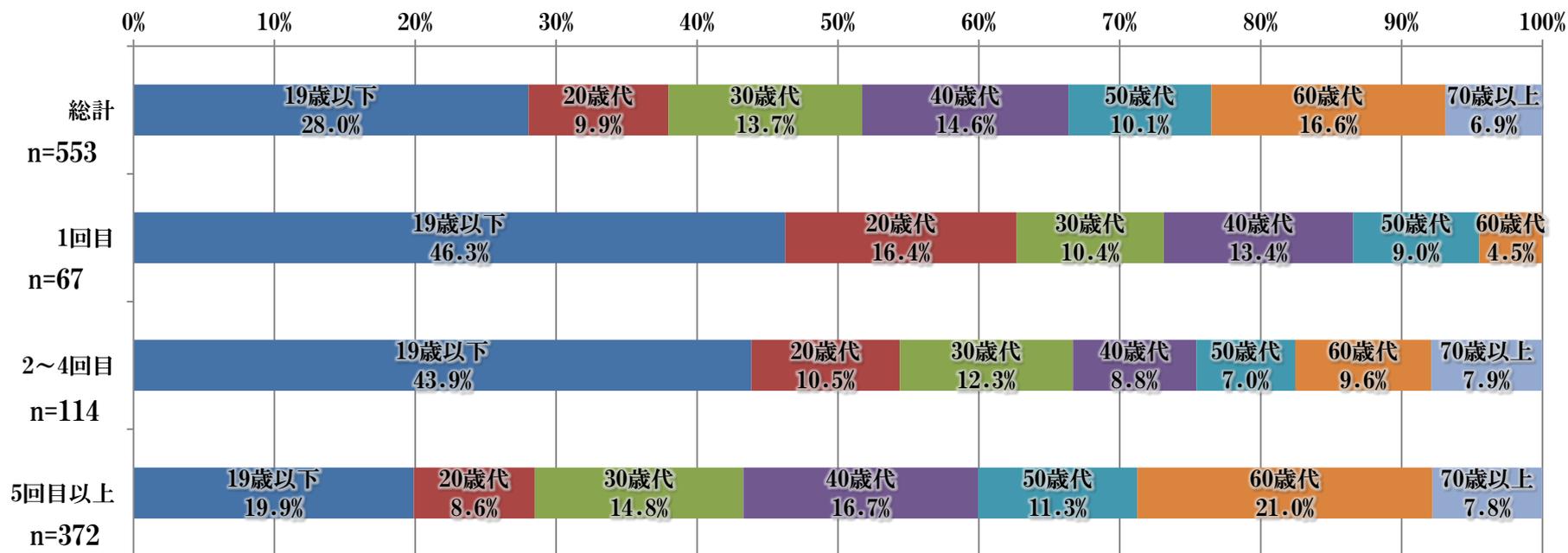
H23～25年度、県内居住地 総計  
(総数：n = 755)



# 沼津近郊地域の利用客層（年齢別）

- 5回以上訪れている方が多い。
- 全体では、19歳以下の利用が28.0%と多く、次いで60歳代の利用が16.6%となっている。
- 来訪が1回目では、19歳以下の利用が46.3%と多く、次いで20歳代の利用が16.4%となっている。
- 来訪が2～4回目では、19歳以下の利用が43.9%と多く、次いで30歳代の利用が12.3%となっている。
- 来訪が5回目以上では、60歳代の利用が21.0%と多く、次いで19歳以下の利用が19.9%となっている。
- 次頁に示す補足資料の同伴者の利用客層と比較すると**19歳以下の子供の同伴の30歳代、40歳代の家族連れが多い**と想定できる。

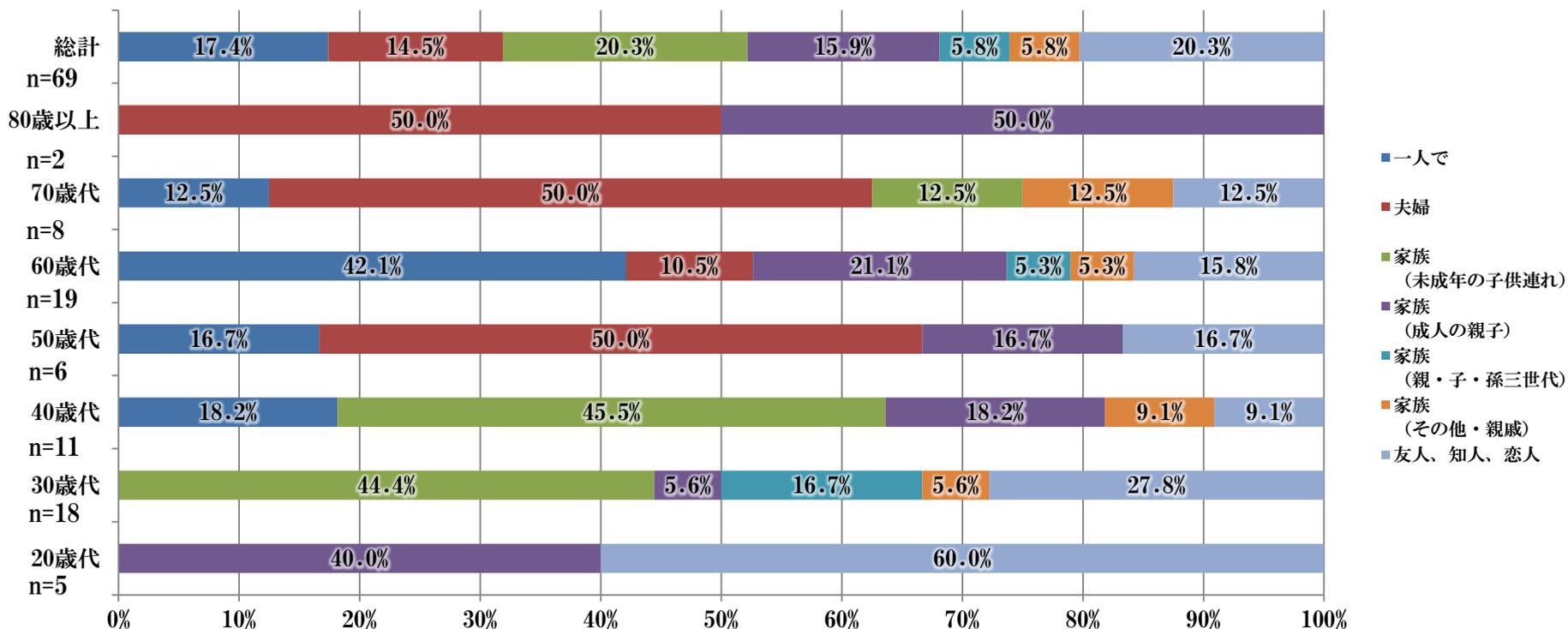
資料-2：H23～25年度、沼津近郊地域、年齢、訪問回数クロス



# 沼津近郊地域の利用客層（年齢・同伴者別）

属性は30歳代、40歳代の未成年の子供同伴の家族連れ、60歳代の一人の利用が多く、他に60歳代の成人の子供同伴の家族連れや、50歳代～70歳代の夫婦、20歳代、30歳代の友人、知人、恋人の利用など広範囲な利用が見られる。

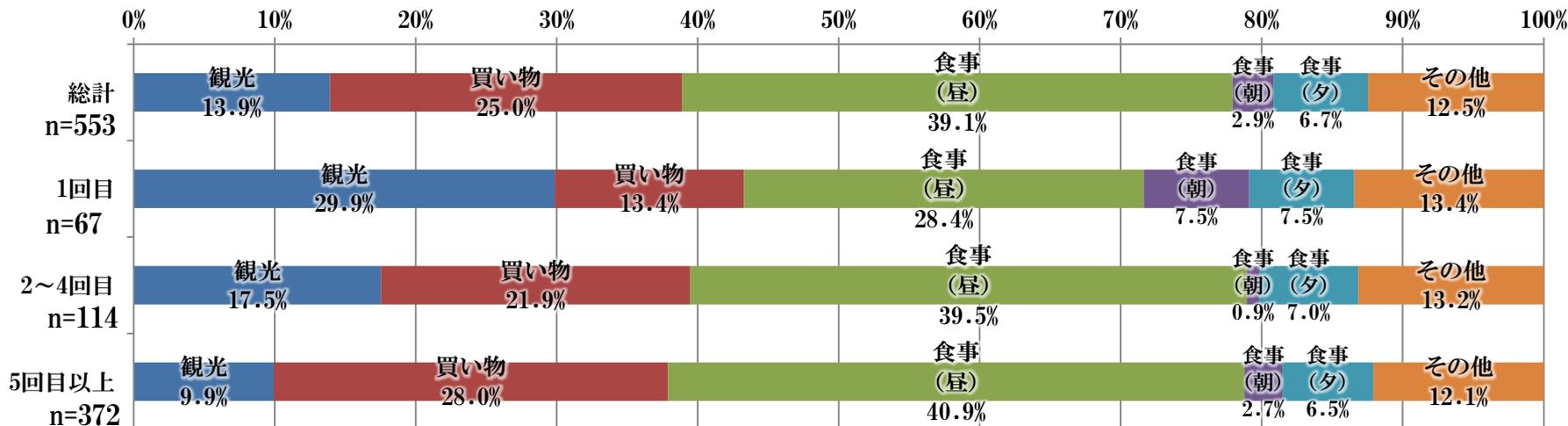
（補足）資料－1：沼津近郊地域、年齢、同伴者クロス



# 沼津近郊地域の利用客層（旅行目的別）

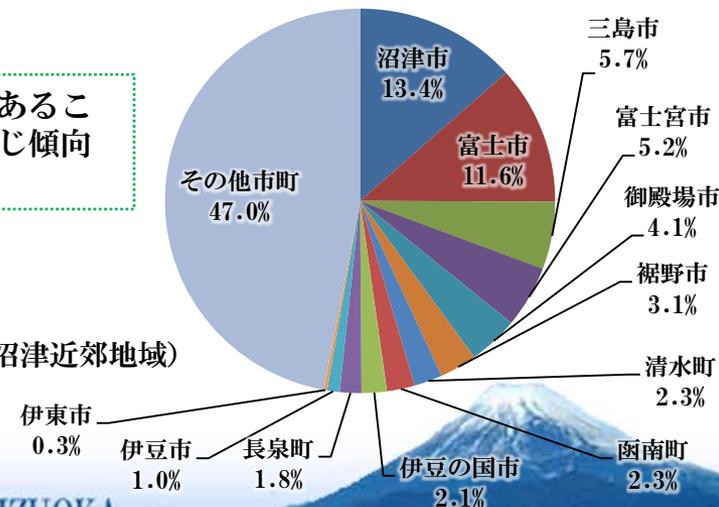
- ・全体では、「食事（昼）」、「買い物」、「観光」の順に利用割合が高くなっている。
- ・来訪が1回目では、「観光」の利用割合が高くなっている。
- ・来訪が2～4回目、5回目以上では、全体と同じ傾向が見られる。
- ・来訪頻度が増えるにつれて、観光の割合は低くなっている。

資料-2 H23～25年度、沼津近郊地域、目的、訪問回数クロス



補足として、資料-3から水族館への来館者数の半数が沼津近郊居住者であることがわかる。特に富士地域および沼津市に近接する市町が多く、8頁と同じ傾向が見られる。

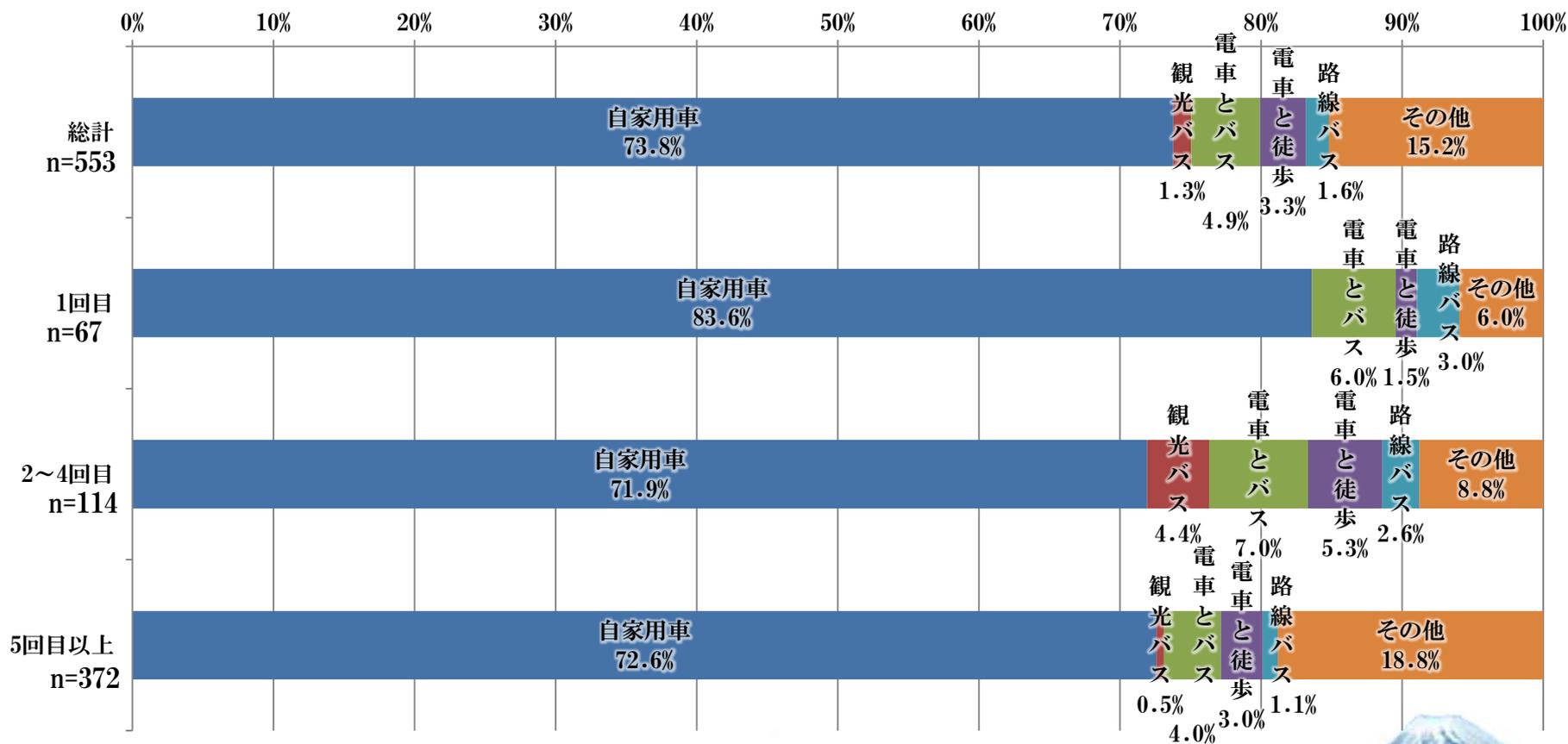
(補足) 資料-3：県内・来訪者（沼津近郊地域）



# 沼津近郊地域の利用客層（交通手段別）

- ・全体では、「自家用車」の利用比率が最も高く73.8%、次いで「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約10%、観光バスが約1%である。
- ・来訪が1回目では、「自家用車」の利用比率が83.6%で非常に高くなっている。
- ・来訪が2～4回目では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約15%と高くなっている。
- ・来訪が5回目以上では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約8%と低くなっている。

資料-2 H23～25、沼津近郊地域、交通手段別・訪問回数

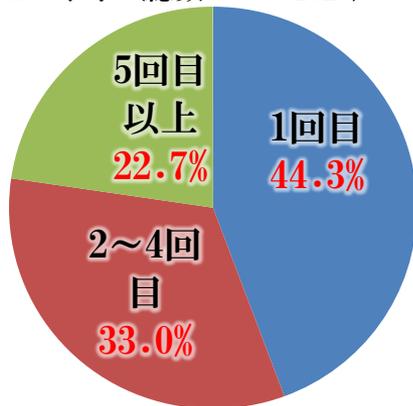


# 県外の傾向

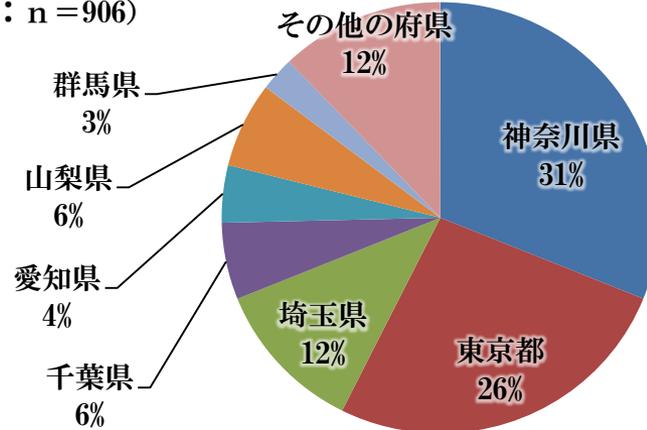
# 県外の利用客層

県外客の内の約80%が関東圏で、特に**東京**、**神奈川**、**埼玉**からの来訪者が多い。県外のリピート率は約56%であり、そのうち上記3県で7割を占める。

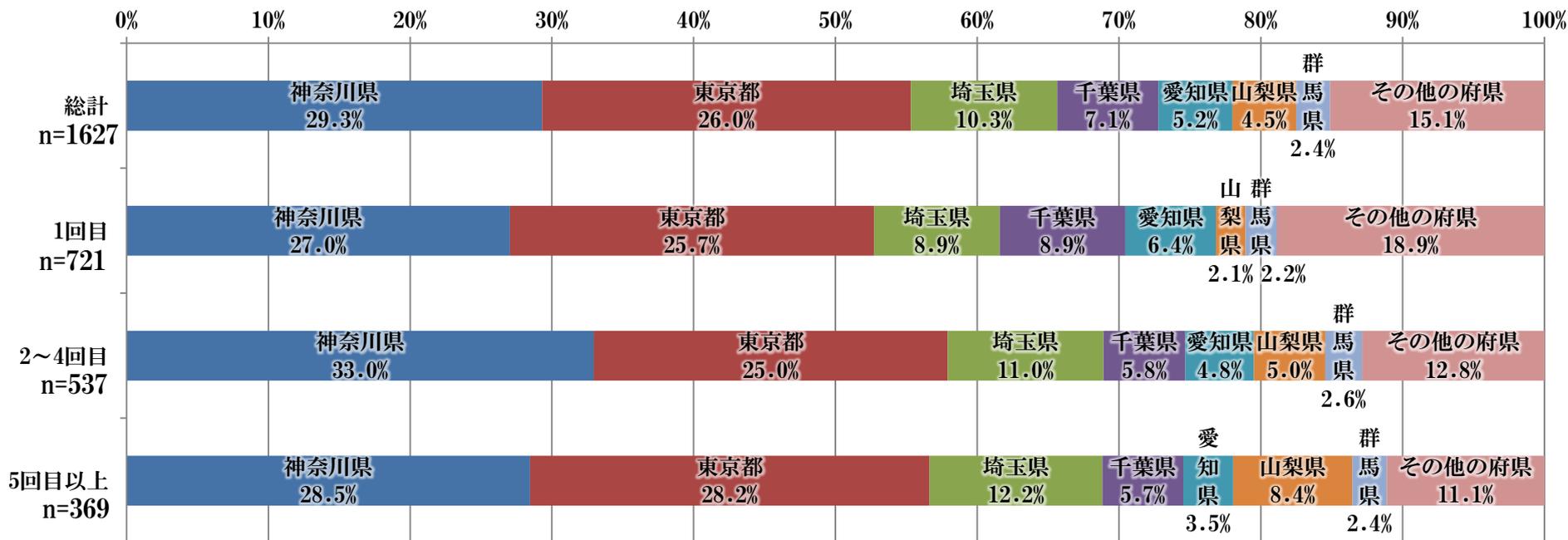
県外居住者リピート率（総数：n=1627）



各都道府県のリピート率（来訪が2回以上）  
（総数：n=906）



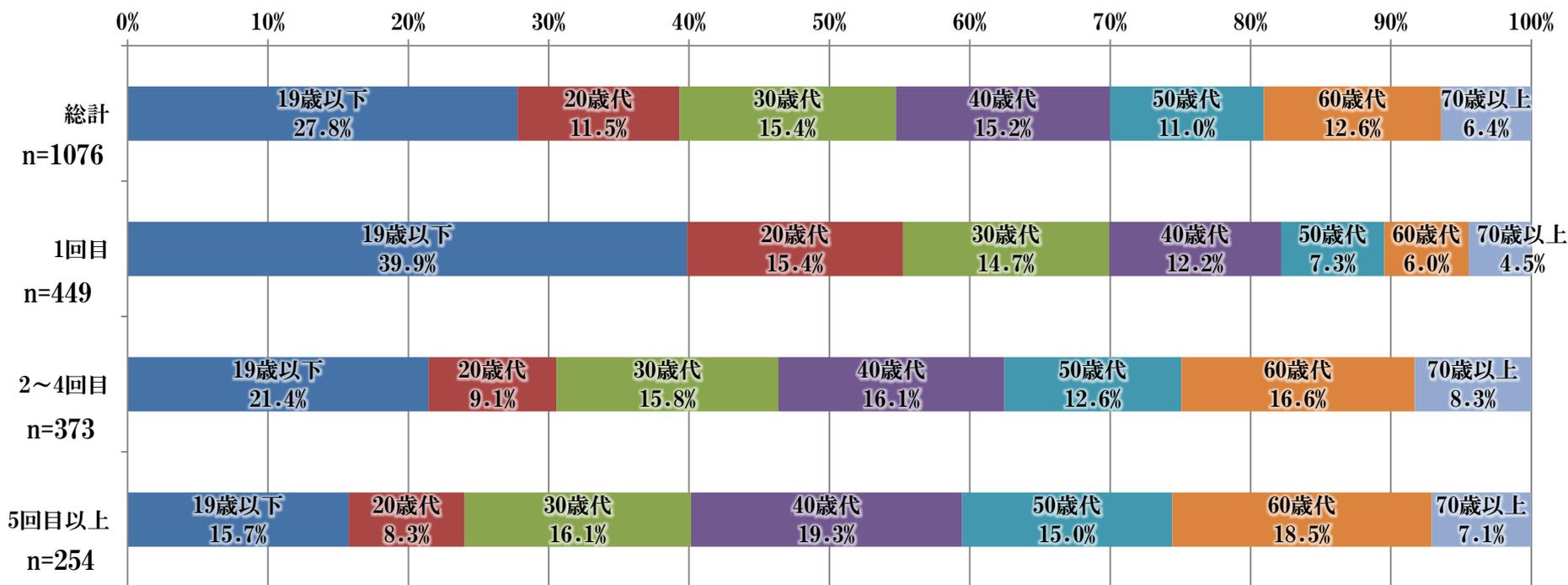
資料-2：H23~25年度、県外、居住地、訪問回数クロス



# 東京、神奈川、埼玉の利用客層（年齢別）

- ・来訪が1回目の方が多い。
- ・全体では、19歳以下の利用が27.8%と多く、次いで30、40歳代の利用が約15%となっている。
- ・来訪が1回目では、19歳以下の利用が39.9%と多く、次いで20歳代の利用が15.4%となっている。
- ・来訪が2～4回目では、19歳以下の利用が21.4%と多く、次いで30、40、60歳代の利用が約16%となっている。
- ・来訪が5回目以上では、40歳代の利用が19.3%と多く、次いで60歳代の利用が18.5%となっている。
- ・次頁に示す補足資料の同伴者の利用客層と比較すると**高齢者や家族連れ、若年層と幅広い層**が利用していると想定できる。

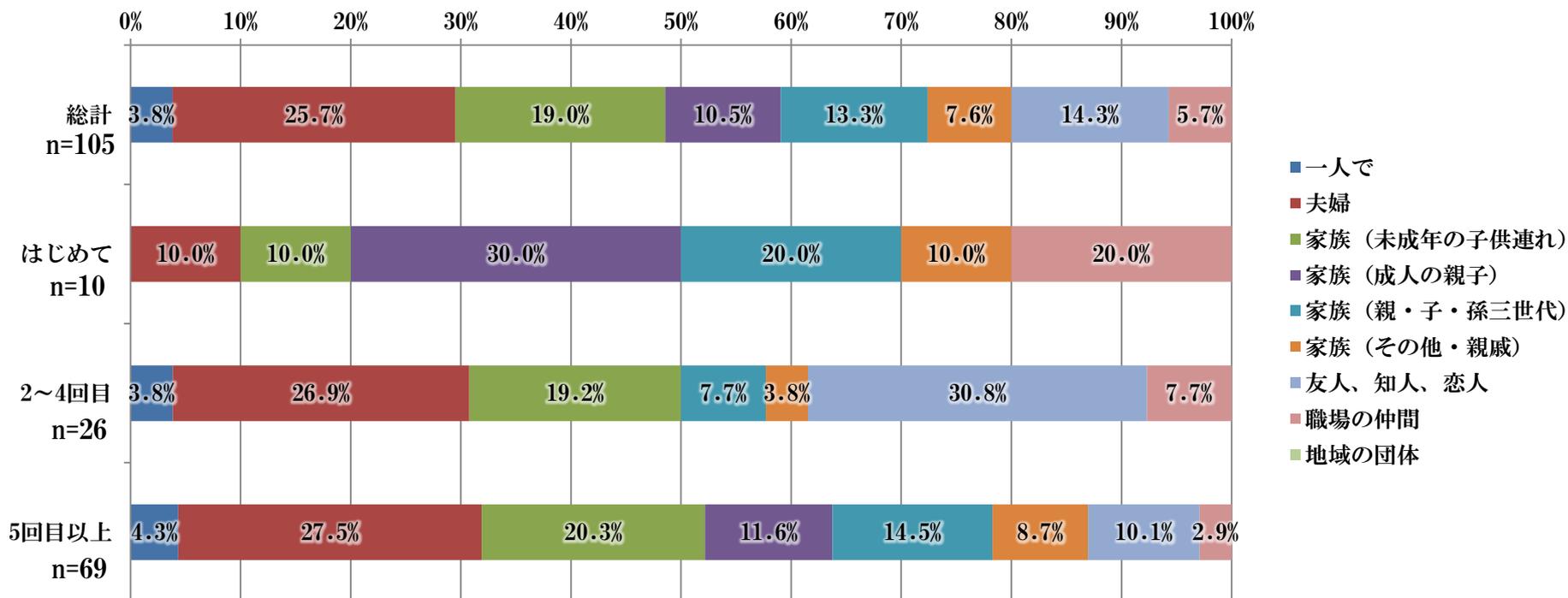
資料-2：東京都・神奈川県・埼玉県、年齢・訪問回数クロス（訪問回数それぞれを100%）



# 東京、神奈川、埼玉の利用客層（同伴者別）

来訪者属性は夫婦、未成年の家族連れが多く、友人、知人、恋人の若年層と思われるリピート利用もみられる。

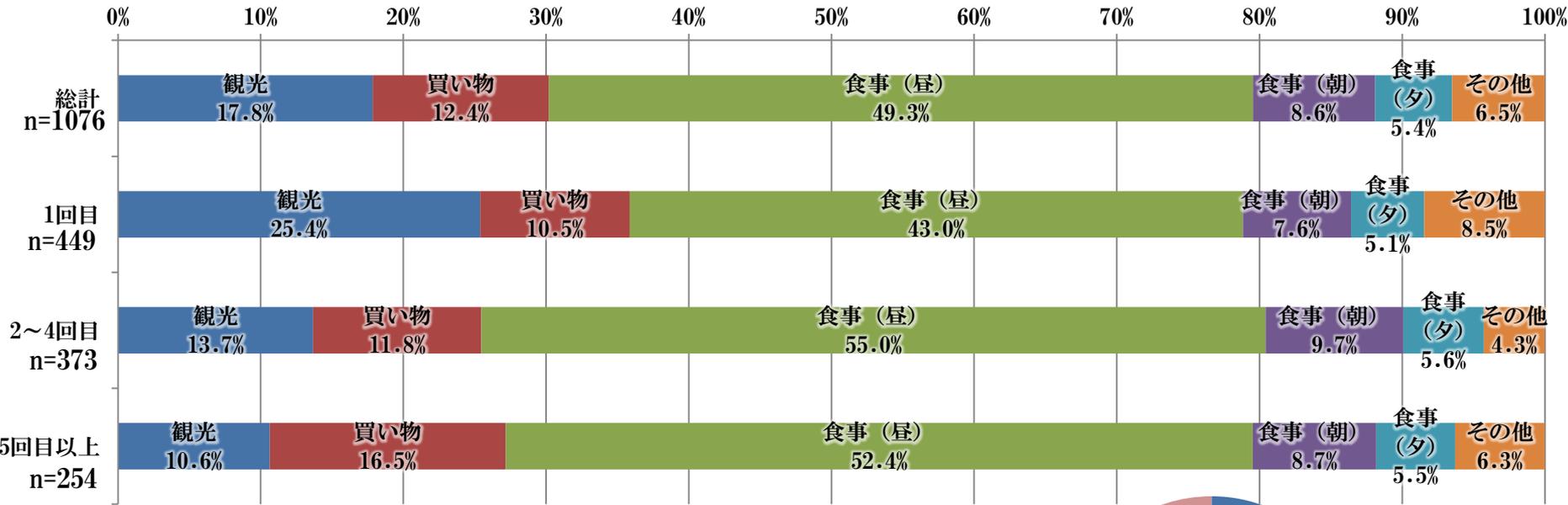
（補足）資料-1：東京都・神奈川県・埼玉県、同伴者・訪問回数クロス（訪問回数それぞれを100%）



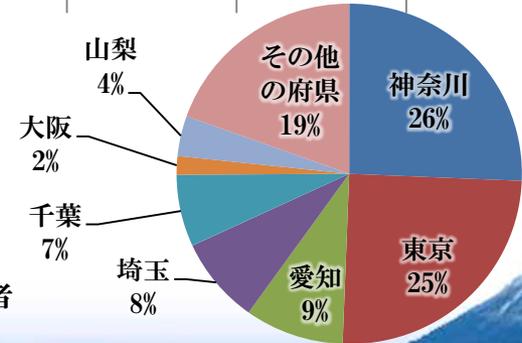
# 東京、神奈川、埼玉の利用客層（旅行目的別）

- ・全体では、「食事（昼）」、「観光」、「買い物」の順に利用割合が高くなっている。
- ・来訪が1回目では、「観光」の利用割合が高くなっている。
- ・来訪が2～4回目では、「食事（昼）」の利用割合が少し高くなっている。
- ・来訪が5回目以上では、「買い物」の利用割合が少し高くなっている。
- ・来訪頻度が増えるにつれて、観光の割合は低くなっている。

資料-2 H23～H25、東京都・神奈川県・埼玉県、旅行目的・訪問回数クロス（訪問回数それぞれを100%）



補足として、資料-3から水族館への来館者数の約80%が関東圏の方であることがわかる。特に関東圏では東京、神奈川、埼玉が多く、15頁と同じ傾向が見られる。



(補足) 資料-3：県外・来訪者

# 東京、神奈川、埼玉の利用客層（交通手段別）

資料-2 H23～H25、東京都・神奈川県・埼玉県、交通手段別・訪問回数

- ・全体では、「自家用車」の利用比率が最も高く74.4%、次いで「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約10%、観光バスが約8%である。
- ・少数ではあるが、船での来訪も見られる。
- ・来訪が1回目では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約16%と高くなっている。
- ・来訪が2～4回目では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約15%と高くなっている。
- ・来訪が5回目以上では、「電車とバス」「電車と徒歩」等の公共交通機関が約9%と低くなっている。

